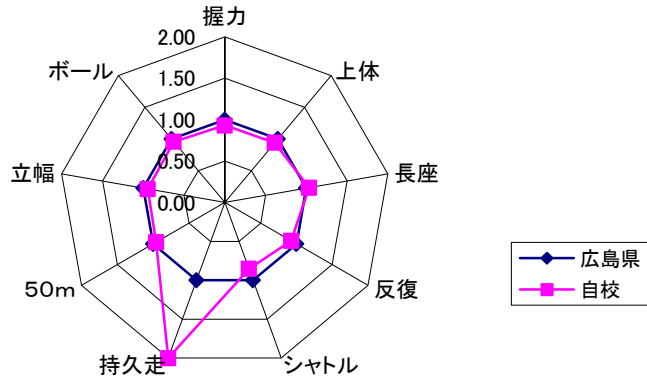


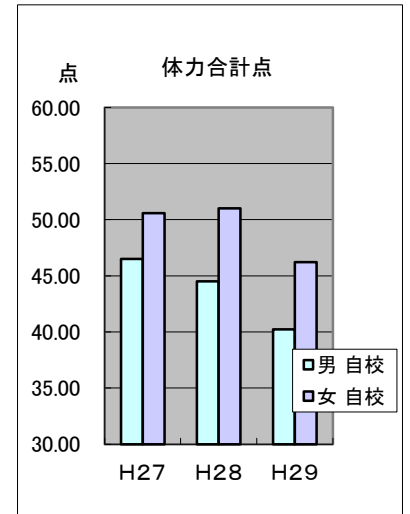
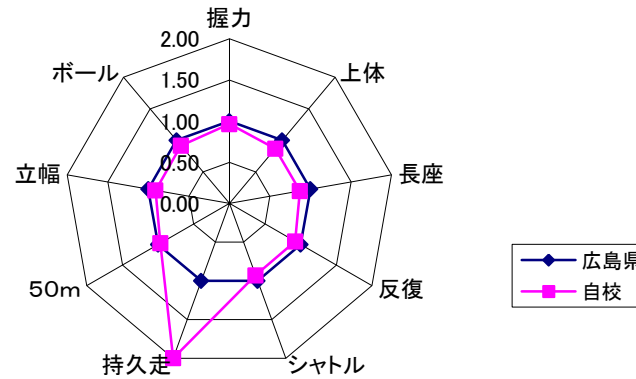
男子の体力合計点 学校 40.24 点 県平均 44.40点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 46.21 点 県平均 52.24点

体力・運動能力調査比較(中2女子)



H29体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
1年生は男女とも全国、県平均を上回っている。2、3年生は男女とも全国、県平均を下回っている。しかし、2、3年生については昨年の自分たちの平均タイムより数値が上がっている。昨年度から短距離走の走り方やコツを指導したことが結果となっている。
- ②(中学校区の課題種目)ハンドボール投げ
1年生の男女、3年生の男子は全国、県平均を上回っているが、2年生男女と3年生女子は全国、県平均を下回っている。しかし、2、3年生については昨年の自分たちの記録より数値が増えている。2年生男子は3m近く伸びている。ボールを投げる機会を増やしたが、体育の授業や部活動において、年間を通して金パワーを高めるトレーニングができなかった。
- ③(自校の課題種目)20mシャトルラン
全学年男子は、全国、県平均とも下回っている。女子においては、1年生の女子は全国、県平均とも上回っているが、2、3年生の女子は全国、県平均とも下回っている。しかし、2、3年生については昨年の自分たちの記録より数値が増えている。全国、県には及ばないが継続して伸ばしていく必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走) 具体的な数値目標 (男子7.80秒, 女子8.70秒)	具体的な取組内容 ・昨年と同様に、保健体育の授業においてラダートレーニングや補強運動を取り入れ、瞬発力や敏捷性を高める。50m走に必要なスピードの向上を図る。 ・陸上競技の単元において、短距離走を取り上げ、スタート方法や中間疾走、フィニッシュについて理論的な指導方法を工夫して効率的な走姿勢をさらに習得させる。また、効率の良い走り方やフォームを習得させる。
②中学校区の課題種目 (ハンドボール投げ) 具体的な数値目標 (男子22m, 女子14m)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・各部活動においても、筋パワーを高めるような取組を促していく。 ・バレーボールやバスケットボールなど球技や体づくり運動の授業時にキャッチボールなどを行い、筋パワーを高め、ボールの操作方法を習得させる。 ・呉チャレンジマッチスタジアムを利用し、生徒の意欲を高めながら、投げることに親しませる。
③自校の課題種目 (20mシャトルラン) 具体的な数値目標 (男子87回, 女子59回)	具体的な取組内容 ・小中共に長期休業中の課題としてなわとびを使ったトレーニング等、持久的なトレーニング課題に取り組む。 ・各部活動においても、全身持久力を高めるような取組を促していく。 ・体育の授業において、長距離走を取り上げ、走法の習得させ、サーキットトレーニングや校内マラソン大会を行い、全身持久力の向上に取り組ませる。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)